

コード	101020103
記入日	H24.5.31

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島 紀昌
担当者	江山 清博

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	「探訪～四季を味わう上五島」補助事業
----------	--------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 18 年度 ～ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	101	施策名称	魅せる観光のしまづくり	項コード	1
基本事業コード	10102	基本事業名称	新たな観光資源の開発とネットワーク化の推進	目コード	3
事務事業コード	1010201	事務事業名称	観光振興事業費	細目コード	140
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町補助金交付規則 新上五島町商工観光振興奨励事業費補助金交付規則		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 一般観光客及びツアー観光客 (対象2)		(対象指標1) 200,101人 (対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)		(指標名称)		(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)
*****		*****		*****	*****	事業実施件数÷ 事業計画件数
・季節毎のテーマで旅行会社等へ誘致活動ができるイベントなど13事業を実施した。 (主な事業) →上五島観光物産まつり →相河川ほたるまつり →蛤浜で遊ぼデー&白砂の芸術祭 →スキューバダイビング展開事業 →上五島教会めぐりウォーク&クルーズ →教会コンサート →韓国巡礼誘客・受入体制整備事業		① (達成率分析)		13事業	100%	***** 平成23年度
		② (達成率分析)		4回	100%	会議開催回数÷ 計画会議開催回数 ***** 平成23年度
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)		(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)
		*****		*****	*****	実績集客数÷ 目標集客数
・上五島の「四季」に焦点を当て、海・教会・五島うどんなどを活かして地域の魅力向上を図るイベントを実施することにより、上五島の魅力を島外へ広く発信し、集客力の向上・食の魅力の定着と消費拡大を図り、ひいては賑わいの創造と交流人口の拡大を目指したい。		① (達成率分析)		6,743人	94%	***** 平成23年度
		② (達成率分析)				ウォーク&クルーズやチャーチウィーク教会コンサートなどについては、早期的なイベント周知を図ったものの思うように伸びなかった。

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 日	166	158	123	43	35					
	② 回	27	27	23	4	4					
成果指標	① 人	44,148	43,731	36,988	7,160	6,743					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	182,711	182,711	134,078	48,633	48,633					
直接事業費 A	千円	44,811	44,811	22,778	22,033	22,033					
人件費 B	千円	137,900	137,900	111,300	26,600	26,600					
内訳	従事職員数	人	19.7	19.7	15.9	3.8	3.8				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円	20,500	20,500	20,500						
	起債	千円	18,300	18,300		18,300	18,300				
	その他	千円									
一般財源	千円	143,911	143,911	113,578	30,333	30,333					

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

<b>1次評価</b>	<b>妥当性</b>	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	<b>理由</b>	世界遺産の暫定リストに本町から頭ヶ島天主堂が登録されているなど、これからの観光地として注目を集めているため、事業を行う必要がある。
	<b>有効性</b>	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	<b>理由</b>	島外からの観光客は増加傾向にあり、十分な成果がもたらされている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	<b>理由</b>	イベント参加者の声を参考にするなど、ツアー行程やイベント内容を改善する余地がある。
	<b>効率性</b>	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	<b>理由</b>	観光事業は、これからの主要産業として必要不可欠であり、町の特性を活かした島外への情報発信イベントとして効果が得られている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	<b>理由</b>	これからの主要産業のひとつとして外貨を稼ぎ、地域経済を活性化するためにも、これ以上の事業費の削減はできない。	

**改善 ( ACTION )**

<b>1次評価</b>	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	今後のさらなる集客増加に向け、現行のイベントに磨きをかけるほか、受け皿となる宿泊施設等のサービス向上やガイド員の技術向上を行った。
	今後、課題に向けた改善策	イベント集客数が目標数値を達成しなかった原因としては、野外でのイベントが天候に左右されたものと考えられる。今後の課題として、さらなる集客のための情報発信の強化、イベント内容の充実と最大の観光素材となる観光客と地元住民の交流の強化を図りながら観光振興を目指す。

<b>2次評価</b>	本町の観光事業の根幹を成す事業であるが、目標集客数に達していない状況である。受け皿となる宿泊施設も整備され、更なる情報発信の強化を図るとともに新たな観光資源の開発やおもてなしなど、観光振興及び地域経済の活性化に努めること。
-------------	---

<b>3次評価</b>	
<b>住民等の意見</b>	
<b>町の対応</b>	

<b>今後の事業の方向性</b>	<b>1次</b>	<b>2次</b>	<b>3次</b>	
	●			このまま事業を継続
		●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	<b>1次</b>	<b>2次</b>	<b>3次</b>	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。